令和８年度　社会福祉法人　開成会　事業計画

令和８年度は、関係法令を遵守し適正な事業実施に努め、質の高い福祉サービスの提供とそれを支える経営基盤の強化に取り組んで参ります。

また、社会情勢の変化に柔軟に対応しつつ、「透明性」を高め安定的かつ継続的な法人運営に努めます。

大藤園、王司山田園とも、利用者の人権を常に尊重し、サービスの質の向上に努め、利用者が安全で快適な生活が送れるように支援いたします。

令和８年度　大藤園　事業計画

令和８年度は、当園の運営や活動が活発に展開できることと存じます。

主な年間行事は、昨年に引き続き９月大藤園まつり、10月旅行、令和８年１月新年会等を予定し、毎月の行事等も工夫して実施したいと存じます。

施設運営につきましては、基本理念と支援方針に基づいて、生活介護事業に相応しいカリキュラムのより一層の充実を行い、利用者一人ひとりが、安全で安心して豊かな生活が送れる環境を整備したいと存じます。

また、支援体制は、職員が「チーム」体制で対応し、特に職員間の連絡、報告を密にして、今まで以上にサービスの質を向上し利用者の支援が行えるようにしたいと存じます。職員は、当園にとってかけがえのない「人財」であり、限られた人数で最大限の力を発揮できる体制づくりに取り組みます。

経営面につきましては、収入面では厳しい状況ではありますが、限られた財源を有効に活用するため、できるだけムダを減らすなど“節約”に努め、健全な収支バランスに努めたいと存じます。

開園日は、１年間で休園日を振り分けて、年間２６９日（休園日９６日）で営業することといたします。

1．　報酬

□生活介護サービス費（報酬）

支援区分	6	5	4	3
単位	1，049	775	533	475

※重度障害者支援加算該当者15人（内訳）Ⅱ　4人 360単位

Ⅲ　11人180単位

（1単位は10円）

2．　利用者の動静、支援区分

令和7年度当初の利用者数56名（週1日利用者含む）から2名が退園した。

（女性1名入所施設へ、女性1名病気のため死亡）

令和8年度は、新規利用者は2名。

（男性1名、女性1名　支援区分未定のため下記表に含まず）

令和8年度は、56名のスタートとなる。

□利用者の支援区分　（令和8年4月1日現在）

支援区分	6	5	4	3	合計
男性（人）	6（6）	11（12）	14（12）	6（7）	37（37）
女性（〃）	0（0）	2（3）	8（8）	7（8）	17（19）
合計（〃）	6（6）	13（15）	22（20）	13（15）	54（56）

新規利用者2名　区分未定　　（　）は令和7年度当初人数

※利用者の状況

区分	内容
平均年齢	39歳
平均通所年数	19年6カ月
障害の程度（総合判定）	知的障害者（療育手帳A判定33人、B判定20人.不明1人）
その他	＜参考＞ ※ダウン症11人、自閉症傾向にある者19人、てんかん12人（重複あり）

３．職員体制

職員の人数については、前年度に生活支援員（正職員１名採用R7.4月、パート職員１名退職R7.9月）があった。令和８年度は、職員配置基準を基に対応したい。

□ 令和８年度は、職員総数　２３名　　（令和８年４月１日現在）

＜正職員１２名・パート職員（11名）＞

＜内訳＞

園長（事務長兼務）		１名
サービス管理責任者（常勤専従）		１名
生活支援員(内１名事務員兼務)		
	正規	９名
	(パート)	(2)名
看護師	(パート)	(1)名
栄養士	正規	１名
調理員	(パート)	(3)名
送迎員	(パート)	(5)名

＊医師については、嘱託医（浜田内科クリニック）に委託している。

４．支援計画等

別冊　「令和７年度年間支援計画書」のとおり

５．予算編成について

（収入の部）

給付費収入は、利用者 56 名を支援区分ごとに積算し、利用率 91%として予算計上した。

（支出の部）

① 人件費支出は、職員総数 23 名（正規 12 名・パート 11 名）で予算計上した。
② 事業費、事務費支出は、前年度実績額を基に積算し、予算計上した。
③ 令和８年度資金収支予算（案）で、当期資金収支差額 1,230 千円となった。
④ 社会福祉充実計画に伴う、借入金償還支出を計上した。